

わたしの夢

川俣小学校6年

今野

翼つばさ

オリンピックメダルを獲る フェンシング選手になりたい



わたしの夢は、オリンピックで金メダルを獲れるようなフェンシング選手になることです。もともとフェンシングをやっていた両親の影響で小学校に入る前からフェンシングの試合は見ていて、「カッコいいな」「やってみてみたいな」とずっと思っていました。小学生になってすぐに川俣町フェンシングスポーツ少年団に入団し、本格的にフェンシングを始めました。将来、フェンシング選手になりたいということは両親も知っていて、お父さんは「一緒に頑張ろう」と言ってくれたりお母さんも練習が休みの時は自主練に付き合ってくれたりと応援してくれています。フェンシング日本代表は東京2020オリンピックのエベ団体で金メダルを獲得しました。歴代日本代表の中でも2008年の北京オリンピック男子フルール個人で日本初のメダルを獲得した太田雄貴選手がフェンシングを始めた頃から私の憧れです。そんな太田選手を超えられるようにこれからも練習に励みたいと思います。

町長のひとこと vol.14



今回は、NPO法人やまぎやお気軽ネットワークの菅野理事長にお話を伺いました。避難解除後の山木屋地域の皆さんが、心の繋がりを大切に、お互いに助け合い、支えあう「ふるさとづくり」をめざして、平成26年に設立し、今年で8年になり、現在は、とんやの郷食堂「おきがる亭」の運営や土日祝日のとんやの郷来場者への対応と情報発信に努めているそうです。この3年間は、コロナによりイベント等は中止していますが、毎月第1日曜日に開催する「お気軽マルシェ」を始め、食堂「おきがる亭」は、工夫を凝らして、リピーターも増えているということでした。私も出かけた時はいつも回ります。が、「おきがる亭」で働く皆さんの元気な挨拶がとても爽やかで、食事も美味しくなりました。今後、ふるさと山木屋の賑わいづくりに頑張ってくださいと思います。